

患者さんへ

「NST 提案は胃瘻造設にどこまで寄与しているのか：提案採用から造設未達・造設後の栄養管理改善までの要因の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2021 年 4 月～2026 年 3 月に当院栄養サポートチーム(NST: Nutrition Support Team) 介入にて胃瘻造設が検討された方
2 研究目的・方法	胃瘻による経腸栄養は、長期的に経口摂取が困難な患者の重要な栄養管理手段です。その適応判断には、栄養状態だけでなく、嚥下・口腔機能、全身状態、予後、本人・家族の意向など多面的な評価が必要であり、多職種による総合的な判断が重要となります。当院 NST では、これらを総合的に評価し、必要に応じて胃瘻造設を提案しています。一方、提案後には病状変化や経口摂取の改善、本人・家族の意向などにより、必ずしも造設に至らないことがあります。また、造設後の栄養管理や転帰についても十分な評価は行われていません。 本研究では、当院 NST が胃瘻造設を提案した患者さんを対象に、提案の採用状況、造設に至らなかった要因、造設後の栄養管理および退院時転帰を調査し、NST による胃瘻造設提案の有用性を検討します。これにより、提案が実際の栄養管理や療養方針に与える影響と、提案を阻害する要因を明らかにし、NST の介入方法や院内の情報共有体制の改善につなげることを目的とします。 研究の期間：施設院長許可後 ～ 2027 年 2 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、NST 提案の採用有無、提案から胃瘻造設までの期間、合併症の有無、胃瘻造設後の栄養摂取ルート、退院時転帰、提案が採用されなかった理由等
6 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

	照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 金田雅大(研究責任者)、和泉市立総合医療センター 栄養管理室 住所: 〒594-0073 大阪府和泉市和気町 4-5-1 連絡先: 0725-41-1331
--	---

2026 年 8 月 13 日作成(第 1.0 版)